

## 留萌市長 長沼憲彦

昭和9年福島県河東町生まれ。自治大卒業後、昭和31年に北海道庁入り。昭和58年留萌支庁経済部長、平成3年留萌支庁長など歴任。平成6年3月に留萌市長に就任。



市長 やっぱり、来ていただいた、お客さんを街全体でどうもてなすかというホスピタリティの精神がないとね。観光などでも、人にやさしい親切な街になるためにも大事なことです。降りたシャッターを楽しく描いて見るとかね。街で楽しくなきゃあいけない。最近はそのを買うだけでなく、楽しく歩く、ウインドウショッピングも大事な部分ですね。こうい

うことをもう少し商店街にも意識してもらいたい感じがしています。佐藤 商店街の所は明るいです。が、ひとつ細い道に入るととつても暗いというのがあります。街灯とかを多く出来ないのでしょうか。市長 今言ったようにちよつと角を曲がったら、後はまっ暗というのでは、印象が悪いですから少し考えないといけませんね。

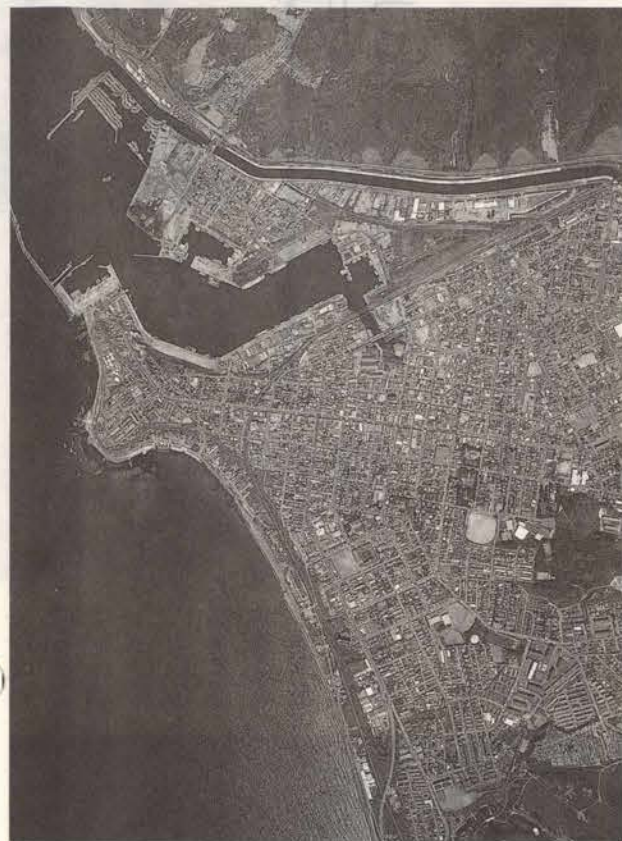
益子 ごみで、留萌市は今、モデル地域だけ分別していますけど、他はしていません。それで、浜中のごみ処理場にいつてどういう状況か調べてきたんですけども、今後ごみの分別に関してどのように感じていますか。市長 今、処理場周辺はガラスとか臭いとか問題があります。浜中処理場がここ数年で満杯になり使用が出来なくなりました。それで藤山地区に現在の技術で考えられる無公害の新しいごみ処理場を平成10年ぐらいで完成する予定でいます。資源リサイクル型の施設です。市民の皆さんの協力が大切です。今進めているモデル地区の経験をもとに全市的な講習会や、広報活動して平成9年度一斉にスタート出来るようにしなければな

# さあはじめよう街づくりは誰もが主役 留萌らしさを求めて

## 出来ることから一歩でも 取り組むことが大切ですよ

市長 皆さんはこれまで新聞の編集の時に、市役所に取材にこられたことはありますか。今も鋭い質問を受けていますが、その時はいかがでした。対応は。宮崎 市役所に来て、始めて知ったということが多くてもし、新聞局に入っていないから分からな

市長 そうでしょうね。普通なら、自分がそういう目的を持って取材でもしなければなかなか知らないことが多いでしょう。私共にしてもし仕事でいろいろ情報が入ってくるから分かりますけど、そうでなければ、知らないことがはるかに多いですから。市長 留萌新聞部の二年間か三年間、やっぱり、いい経験になりました。



すね。宮崎 はい。いろいろ、勉強になります。市長 田沢君も今年一年が正念場、活躍の場だね。田沢 はい。佐藤 今年九月に留萌で新聞局の全道大会があるんです。全道から仲間が一斉に留萌に集まるんです。市長 そうですか。それはそれじゃあ皆さんも忙しいですね。地元だから、受け入れる準備もしなければならぬわけでしょう。これまでの実績があるから、ゆとりをもって出来るでしょう。田沢 文化センターの収容人数が少ないという問題があります。百校、五百人くらいの参加で、四十人から五十人くらいの分科会に分かれて討論します。全部で十二くらいになります。市長 分科会が十二もあるんですか。文化センターの中にも部屋はいくつかあるがそんなにないですよ。宮崎 留萌に来てくれた方に楽しんでもらいたいですけど、お土産を買う場所がどこか分からない問題があるんです。宮崎 それも留萌の弱点の一つで

すね。皆さんから意見というのは、実に鋭くて。今日お会いする前に新聞を少しよましていただいたなかでも特に感じています。管内全体のPRをする施設をなんとか造りたいと思っています。先日、ブループラネットという女性グループで、お土産品でなんとか留萌らしさをイメージしたものを作りたいと、全く個人的なグループで頑張っている皆さんから、かもめをあしらった立派なものを買って来ました。出来ることが一歩でも取り組むことが大切ですね。

市長 留萌の商店街は、閉店時間が早いですね。早いところでは6時頃から、お土産を買うにしても出来ない。市長 やっぱり、来ていただいた、お客さんを街全体でどうもてなすかというホスピタリティの精神がないとね。観光などでも、人にやさしい親切な街になるためにも大事なことです。降りたシャッターを楽しく描いて見るとかね。街で楽しくなきゃあいけない。最近はそのを買うだけでなく、楽しく歩く、ウインドウショッピングも大事な部分ですね。こうい

りません。益子 わたしたちある実験をしました。ペットボトルと他の物の燃焼実験をしたところ、油と加わったら非常に有害物質を発生することが分かりました。埋立て処分が家庭用の食夜油と一緒にしたら大変なことになるんじゃないかと心配していました。市長 家庭から出るごみを全部リニアップして研究しているのですが、そんな実験結果があるとしたら、ちよつと気になりますね。ちよつと調べて見たいと思います。益子 今日は、どうもありがとうございます。市長 皆さんも、素晴らしい新聞をこれからも作られますように、そして、これまでの先輩の皆さんに負けない立派な紙面編集を期待しています。今日はありがとうございました。